

2019年11月13日

郵産ユ岡山18-3

岡山中央郵便局

局長 山縣 真二郎 殿

郵政産業労働者ユニオン岡山支部

副支部長 小野 雅道

2019年度年末年始繁忙に関する要求書

貴職の日ごろの奮闘に敬意を表します。

2019年度年末年始業務運行に関して安定的な業務運行の確保と社員・非正規社員の労働安全や健康を確保するために以下の要求を提出します。誠意ある回答と早急な交渉の場を求めます。

記

- 1、 年末始業務運行計画（岡山中央・邑久・岡山郵便局）を明らかにすること。
- 2、 連続出勤については、7日以内となるようになるよう要員配置を行うこと。
- 3、 12月31日から1月3日までは、超勤を行わなくて済むよう、社員の健康面への配意の観点からも、要員確保を行うこと。
- 4、 1月1日から1月3日までに全社員に最低1日以上の日を確保すること。
- 5、 年末始繁忙期における短期期間雇用社員の雇用確保に万全を期すこと。また、年明け以降も長期雇用できるようにすること。
- 6、 年末始に限らず夜間ゆうゆう窓口が混雑するので、十分な要員配置を確保すること。
- 7、 「36協定」違反とならないよう指導することも含め、勤務時間管理を徹底すること。また、勤務時間が何故守られないのか原因を究明し解決に取り組むこと。
- 8、 年賀郵便物配達終了打切便について元旦配達分は12月30日夜までとすること。
- 9、 年々、年賀郵便物の遅出し傾向が顕著になってきているが、元旦配達物数にこだわらず、無理な結束を行わないこと。
- 10、 交通事故、ロールパレット事故等の労働災害の根絶には万全を期すこと。また、全社員への研修、周知を徹底させること。

- 11、 毎年、繁忙期の超勤が過多になっている。超勤削減、そして社員の健康の為にも、減区・速達等の兼配を解消できる要員を確保することを求めるが、逆に無理な超勤制限は行わないよう配慮すること。
- 12、 年賀郵便販売については、個人指標が無くなったとのことだが、ビジネス年賀に関する指標は残っている。また、集配部の中には「2時間超勤で年賀営業をしてくるように。一班あたり3000枚」といった周知が行われた、とも聞いている。四半期毎のイベントゆうパック等の指標も歳暮も年々増えている。いわゆる「自爆営業」根絶のため、かんぽ生命の事案のようなことが起きないように、低実績者へのパワハラ等が無いよう社員周知を徹底させること。
- 13、 ロールパレット、パレットケース、バイクの壊れたキャリーボックスや破けた網紐も含め、物品が不足する事のないよう取り組むこと。
- 14、 なまものやこわれもの、バイクにとっては大きめの小包をバイクで配達しなくて済むよう、委託業者の確保に取り組み、撤退等しないよう配慮すること。また契約が遵守できるよう強く求めること。
- 15、 ゆうパックを取り扱う量が今年度もかなり多いことが予想される。利用者に約束したことが守られるように、ゆうパック対策として小包配達担当者を雇用できるよう予算配分も含めて対処できるようにすること。
- 16、 繁忙期前から、バイクによる速達・小包等の兼配により、バイクのキャリーボックスのフタが閉まらない状態のまま走行せざるを得ない状態である。少し大きい小包でさえバイクは積載が難しくなるため、品質の観点からも、速達・小包のバイクでの兼配はやめ、混合区を復活させること。
- 17、 減区や兼配により、通配担当者は繁忙期前にもかかわらず持ち戻りとなる事例が過去にあった。岡山郵便局でも処理が遅れ、更に配達も遅れると、お客様に多大な迷惑をかけることになるので、他局・支社からの応援、OBへの声かけ、更には管理者対応も視野に入れ、会社は責任を持って要員確保に努めること。
- 18、 社員の負担が増えるゼロ年賀は、利用者、株主にとってもメリットがないため行わないこと。まずは現状の「減区・兼配が当たり前」の状況を解決すること。
- 19、 繁忙を理由とした年休制限を行わないこと。また、時季変更権の行使を行うなら、変更する時季を具体的に明示すべきところ、管理者・役職者は「出ない」で終わらせるため、指導徹底すること。
- 20、 例年狭いと不満が出ている年賀作業スペースを、事故防止の観点からも広く確保すること。現行を可とするなら、その理由も説明すること。

- 21、 年賀も普通郵便も2パスの処理率が前年より落ちないように、手区分を増やさないよう、要員配置を徹底すること。31日から年明けは2パス率が落ち、特に3日は過去には持ち戻りになる事例もあったと聞いている。お客様信頼の観点からも、特に1月3日の対策は万全に行うこと。
- 22、 岡山郵便局からの小包等も含めたトラック便が遅れることのないよう、岡山郵便局の要員確保には万全を期すとともに、特にベテランが多く退職したと言われる深夜勤の要員配置はどうするのかも含め雇用計画を明らかにすること。
- 23、 今年度も年賀区分は岡山中央郵便局で行うようだが、岡山南・妹尾等の周辺局も区分し、更に岡山郵便局から不慣れな社員を派遣するということなら、その分は増員するなどして業務に支障が出ないように、お客様に迷惑をかけないように取り計らうこと。
- 24、 企業としてコンプライアンスの徹底は重要です。セクハラ・パワハラに関しても、短期期間雇用社員を含めた全社員に研修を徹底させること。
- 25、 インフルエンザ等感染症対策の観点からも、換気・清掃や消毒薬、うがいの設備等を徹底すること。
- 26、 軽四輪にドライブレコーダーが取り付けられているが、ドライブレコーダーを利用するのは、事故を起こした時などやむを得ない場合のみとし、評価判断の材料や個人の尊厳が損なわれるような利用は絶対しないよう現場周知を行い、実際に焦って事故が起きないように要員確保を行うこと。

以上